

ヒライ信 ジョークサロン番外編 2025.5

あいうえお 50 音 ことばの曼陀羅

平井 たかお

Next ヒライ信 VOL.3 第299号 2024年7月

あいうえおの出会い

わ ら や ま は な た さ か あ
 を り ゐ み ひ に ち し き い
 ん る ゆ む ぶ ぬ つ す く う
 れ え め へ ね て せ け え
 ろ よ も ほ の と そ こ お

「万葉仮名」という当て字であった。ただ、「万葉仮名」は種類が多くて複雑だったので、もう少し簡単に書き表すために、平安時代初期に生まれたのが、日本独自の文字である「ひらがな」と「カタカナ」だった。そんな中で、学僧たちが「カタカナ」を主に用いて作ったのが「五十音図」である。江戸時代までは「五音」または「五音図」などと呼ばれていた。
くじゃくきょうおんぎ
 11世紀初めに成立した『孔雀経音義』（醍醐寺蔵）に掲載されたものがある。今と全然違い、四十音しかなかった。配列も違っていた。「ア」もない。

くじゃくきょうおんぎ
孔雀経音義の四十音図 (11世紀初め)

リ	キ	ヒ	ミ	イ	チ	シ	キ
ロ	ヲ	ホ	モ	ヨ	ト	ソ	コ
ラ	ワ	ハ	マ	ヤ	タ	サ	カ
レ	エ	ヘ	メ	エ	テ	セ	ケ
ル	ウ	フ	ム	ユ	ツ	ク	

その後、奈良の西大寺で1079年に書かれた『金光明最勝王経音義』にも、**五十音図**の原型が示されており、そこにはきちんと「五十音」が出揃ったものが、**2パターン**も掲載されている。これも、いまの、アイウエオやアカサタナの順ではない。

金光明最勝王経音義五十音図① (1079年)

サ	カ	タ	ハ	ヤ	ワ	ア	マ	ナ	ラ
セ	ケ	テ	ヘ	エ	エ	メ	ネ	レ	
ソ	コ	ト	ホ	ヨ	ヲ	オ	モノ	ロ	
シ	ク	ツ	フ	ユ	フ	ウム	ヌ	ル	
スキ	チ	ヒ	キ	イ	ミ	ニ	リ		

金光明最勝王経音義五十音図② (1079年)

サ	カ	タ	ハ	ナ	マ	ア	ヤ	ワ	ラ
シ	キ	チ	ヒ	ニ	ミ	イ	キ	リ	
ス	ク	ツ	フ	ヌ	ム	ウ	ユ	フル	
セ	ケ	テ	ヘ	ネ	メ	エ	エ	レ	
ソ	コ	ト	ホ	ノ	モ	オ	ヲ	ロ	

あいうえお五十音図 ことばの曼荼羅

日本語の「音」と「文字」を一致させて覚えるために作られた「五十音図」
 日本語の母音を5つと決め、すべて子音と母音から成り立つとした。これを考え出したのが平安時代の天台宗の僧・明覚上人だ。明覚は、比叡山で唐代の中国語とサンスクリット語を学び、加賀山代の温泉寺の住職となり、平安時代後期1093年、五十音図を完成させた。

明覚上人の作成した「五十音図」

ワマハラナタサヤカア
 キミヒリニチシイキイ
 ウムフルヌツスユクウ
 エメヘレネテセエケエ
 ヲモホロノトソヨココ

5月10日は五十音図・あいうえおの日

「五十音図」という名称は、江戸時代の国学の祖、けいちゆう契沖が元禄六年(1693年)に著した「和字正統抄」にはじめて見えます。
 これは、契沖の学んだしんがく禅学(仏教の原典がかかれた古代インドの言葉や文字に関する学問)に基づいて、日本語の音節の構造を示したもの。

契沖の五十音図 (元禄六年・1693年・和字正統抄より)

和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ

現代仮名遣いに基づく五十一音図

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
ゐ	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
う	る	ゆ	む	ぶ	ぬ	つ	す	く	う
ゑ	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お
ん									

や行に「い」「え」も入れ、ワ行は現代仮名遣いで廃字となった「あ」「え」も含めた。51音

る	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
れ	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
ろ	よ	む	ぶ	ぬ	つ	す	く	う
わ	ら	め	へ	ね	て	せ	け	え
を	り	も	ほ	の	と	そ	こ	お

現代仮名遣いに基づく穴あき46音図

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
り		み	ひ	に	ち	し	き	い	
る		ゆ	む	ぶ	ぬ	つ	す	く	
れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	
を		ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ
ん									

や行に「い」「え」を省き、ワ行は現代仮名遣いで廃字となった「あ」「え」を省いて、穴あきにしました。46音

ヒライ流 あいうえお

無意味な発音の「あいうえお」に意味を持たせてみた

あ
人を愛することから始めよ

そうすれば、^ん幸運でおわる

アイウエオは 50 音の無意味な発音記号文字ですが、これに意味のあるフレーズにしてみた。まさに「阿吽の呼吸」である。二人以上で物事を行う際に、言葉を交わさなくても互いに息が合い、タイミングや間合いがぴったり一致している状態を表す言葉です。これは、チームワークの良さや、長年の付き合いで築かれた深い理解を意味します。

<p>あ 言 う え お あ い う え お</p> <p>あ～言おうか、こ～言おうと悩まず、言葉に出して意見・考えを言おう。</p>	<p>書 き く け こ か き く け こ</p> <p>それを確実にするため報告書、手紙、メモなどこまめに書きましょう。</p>	<p>指 し す せ そ さ し す せ そ</p> <p>的確な指示をせよ。組織の目標や方針、リーダーのビジョンを指し示そう。</p>
<p>立 ち つ て と た ち つ て と</p> <p>どんな困難にも立ち向かう。先頭に立ち皆を先導・率先垂範しよう。</p>	<p>何 に ん ね の な に ん ね の</p> <p>何事にも「何？何ぜ？何処？だれ？いつ？」と疑問や好奇心を持つとう。</p>	<p>は 皮 膚 へ ほ は ひ ふ へ ほ</p> <p>スキンシップを大切に接しよう、肌のふれあいや足で歩いて実感せよ。</p>
<p>ま 見 む 目 も ま み む め も</p> <p>ものごとを真正面から見よ、正面・側面・反面からも多面的に観察せよ。</p>	<p>や い 言 え よ や い ゆ え よ</p> <p>「やい!!」「こら!!」と本音で言えるよう。しかし、揶揄するなかれ。</p>	<p>ら 理 る れ ろ ら り る れ ろ</p> <p>理路整然、理論武装せよ。理に適ったやり方、理性のある行動をせよ。</p>
<p>和 め う ゑ を わ め う ゑ を</p> <p>和を以って貴しとなす。人の和（輪）を大切にしよう。平和に和やか。</p>	<p>運 ん</p> <p>運をつかめ。運を引き寄せよ！人間関係は互いのあ・んの呼吸が大事。</p>	

人生八十年

あいうえお

- あなたの人生で大切な「あいうえお」
- かいてきな人生の生き方「さしすせそ」
- さわやかなほめ言葉の「さしすせそ」
- たのしい「ヒライ信」作成の「たちつとと」
- なんとか苦難を打開する「なにぬねの」
- ハイレベルでなくていいよの「はひふへほ」
- まもろう高齢者交通安全の「まみむめも」
- やってくる80の壁を超える「やみゆめよ」
- らくに交流の場づくりの「らりるれるる」
- わをん

アイウエオ作文という言葉遊びがある。あいうえおの頭文字5つを織り込んで短いフレーズ(句)を作ってみた。同様にかきくけこ、さしすせそ・・・「あかきたなはまやらわ」について並べて、わが人生の励みの言葉にしてみた。

<p>あなたの人生で大切な 「あいうえお」</p> <p>あで愛が溢れる。 いで命が輝く。 うで運が巡る。 えで縁で結ばれる。 おで恩に気づく。</p>	<p>かいてきな人生の生き方 「かきくけこ」</p> <p>かは感謝 きは希望 くはくよくよしない けは健康 こは好奇心をもち行動</p>	<p>さわやかなほめ言葉の 「さしすせそ」</p> <p>さはさすが！ しは知らなかった！ すはすばらしい！ せはセンスある！ そはそうなんだ！</p>
<p>たのしい「ヒライ信」作成の コンセプト「たちつとと」</p> <p>たは短時間で読める ちは違いが分かる つは伝わりやすい ては手に取りやすい とは整っている</p>	<p>なんとか苦難を打開する 「なにぬねの」</p> <p>なはなんとかなる！ にはニコニコ過ごす ぬは温もり感じながら！ ねは熱意を持って粘り強く！ のは伸び伸びやろう！</p>	<p>ハイレベルでなくていいよの 「はひふへほ」</p> <p>はは半分でいい ひは人並みでいい ふは普通でいい へは平凡でいい ほは程々でいい</p>
<p>まもろう交通安全の 「まみむめも」</p> <p>まは待ちましょう みは見つめよう むは無理をしない めは目の前に集中 もはもっと確かめる</p>	<p>やってくる80の壁を超える 「やみゆめよ」</p> <p>やはやりたいことをやれ みはイライラするな ゆはゆとり&ゆったり えは偉ぶるな よは欲望は長生きの源</p>	<p>らくに交流の場づくりの 「らりるれるる」</p> <p>らは楽に楽しく りは臨機応変に るはルールに縛られない れは礼節を守って ろは炉端会議風</p>
<p>「わ」と読む漢字の輪</p> <p>わからはじまる四字熟語</p> <p>話題沸騰 和同開珎 矮子看相 敬備氣隨 和顔愛日 和氣臨臨 和羹塩梅 和光同塵 和魂漢魄 和魂洋才 和而不流 和如琴瑟 和衷共濟 和衷協同 和藹可亲 和風應雲 和洋折衷 和肉補瘡 腕白小僧 和食定食 和解成立 話題提供</p>		<p>Next ヒライ信 VOL.3 第299号 2024年7月</p> <p>おわり</p>

「わ」と読む漢字を輪に並べてみました。
中心には「わ」からはじまる四字熟語を並べた。

<https://1drv.ms/v/c/41777f05f65e6c13/EXU4rYY5LEVNkjUhFF1Q-o8B-nY5turdWP9tivnWJMp7YA?e=F5h5DQ>

「あいうえお」ことばの曼陀羅の動画が見られます